

CONTENTS



- 2 陸上案ではなく保護区を
- 稲嶺市長とともに
- 4/5 辺野古アセス訴訟 第3回公判
- 1/30 日比谷公園集会
- 6/7 ロンドンにジュゴン現る
- ジュゴンに会いに行こう!
- 8 SDCC 総会 総括と方針案

ハイチのポルトープランスの震災に衝撃を受けた。復興に向けた国際的取り組みも困難を極め、埋もれた死体の収容も、被災者の実数確認もおぼつかないままに続く。

2月26日午前5時31分。沖縄本島で震度5弱の地震があった。ドドドと突き上げるような縦揺れの後、ユサユサと、横揺れがしばらく続いた。久しぶりの地震に揺られながら、ふとジュゴンのことと、日本の政治の液状化現象を思った。

政権が変わり、安心安定したと評価されるべき鳩山政権だが、自民党が得意とした政治とカネの戦後レジームの悪癖があぶり出され、結局、選挙地盤の液状化がおり、民主党が自公に負けるという地方首長選挙が続いている。そんな中、普天間基地移設問題が混乱しているため、ジュゴンがおこっているのかもしれないと思ったのである。

「ジュゴンと大津波」 SDCC 共同代表 海勢頭 豊

26日のうちに千葉に行き、翌27日は流山文化会館でコンサートであった。朝からみぞれ混じりの冷たい雨で、客足が心配されたが、さらに心配な事態が起こっていた。その日、チリで震度8以上の大地震が起きて、沖縄を含め日本列島に大津波警報が出されていたのである。そして津波の最も早い到着場所が千葉であるとのことで、鴨川をさかのぼる津波の映像がテレビ報道されているとのことであった。

そんな中での「サン島のコンサート」であったが、大勢の出演者を除いて148人の入場者があり、人数以上の温かい拍手に包まれて嬉しかった。会場ロビーではジュゴン保護キャンペーンセンターのスタッフがジュゴン保護の署名集めに取り組んだが、終演後のお客さんがコンサート内容に感動したとのことで、好意的に署名協力している様子を見て、また嬉しかった。政治家にもジュゴンと津波の話を知ってほしいと思った日であった。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



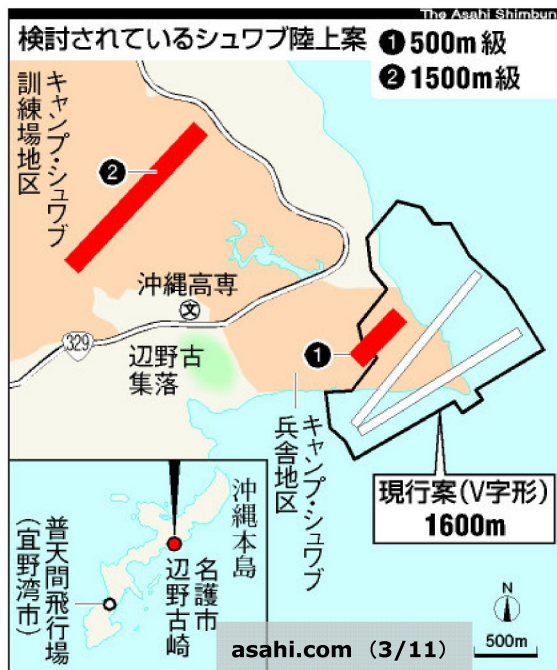
多くの団体・個人の参加でにぎわった沖縄 BD ネットの合同作品・写真展(7面)



日比谷野外音楽堂を埋め尽くす全国からの6000人の参加者(4面)

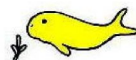


陸上案でなくジュゴン保護区を ~国際ジュゴン年に向けて



辺野古の海よりキャンプシュワブをのぞむ

急浮上する「シュワブ陸上案」



平野官房長官、北沢防衛大臣が3月2日にルース米大使と会談し、現行計画の断念とキャンプシュワブ陸上案など移設先を報告していたことが明らかになりました。また、沖縄基地問題検討委員会が社民党、国民新党から移設先の提案を4日にも受けて、協議を打ち切ることが報道されています。「早く候補を決定するプロセスに」(平野官房長官)と5月末にアメリカとの決着に向けて焦っています。

一方、長島昭久防衛政務官は3月1日に、東京都内の会合で「オスプレイは12年10月から24機、沖縄に随時導入されることになっている」、「現行案と決めてもオスプレイの話が一切入っていない」と指摘し、環境影響評価をやり直す必要性があると言及しています(3/2毎日新聞)。

シュワブ陸上案でオスプレイ配備ねらう



普天間代替施設評価書を先送りした動き(3月1日)とこれらの動きを合わせ見ると、鳩山内閣の思惑は透けて見えてきます。キャンプシュワブ陸上案で、オスプレイの配備が狙いです。防衛省の移設先案を国民新党案としてリークすることで、沖縄県民や世論の動向を見ているのです。評価書を先送りしたのは、現行案の環境アセスメント準備書を一部修正することで、陸上案のアセスとして終わらせたいのです。評価書の提出を遅らせたのはそのためです。しかし環境影響評価法が見直しされて今国会で法改正が提案される中で、彼らの思い通りにはなりません。また、辺野古アセス裁判の取り組みの意義も高まってきます。

騒音、安全問題、赤土流出・・・陸上案は許さない

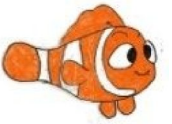


キャンプシュワブ陸上案は近隣住民に四六時中の戦闘訓練による騒音影響や安全問題など想像以上の影響を与えます。久志3区行政委員会は反対決議を上げています。ジュゴンや海草藻場、サンゴ礁にも影響します。1500メートル滑走路建設工事による土砂の搬出入、弾薬物資などを搬入する護岸建設工事などによる赤土流出などでジュゴンの海が壊滅します。

「基地ではなくジュゴン保護区を」の署名を一回り大きく広げて、国際ジュゴン年を成功させましょう。

新市長誕生

稲嶺市長とともにジュゴン保護区を



2月8日に市長に就任した稲嶺市長は、2010年度は米軍再編交付金(約10億円)で新規事業をしないことを決めました。これは基地に依存しない、持続的発展できる農業や観光業で地域振興をめざしているからです。また、鳩山内閣が検討しているキャンプシュワブ陸上案(戦闘ヘリコプターの500メートル基地)については「辺野古の海にも陸上にも新しい基地をつくらせないことが民意」と反対を明言しています。

沖縄県議会も「米軍普天間飛行場の県外、国外移設を求める意見書」を全会一致で採択し、上京行動を取り組みました。意見書には「辺野古沿岸域はジュゴンをはじめ希少生物をはぐくむ、世界にも類を見ない美しい海域である」と明記しています。仲井真知事も県外、国外移設について「実現に向けて取り組んでいきたい」と発言しています。ジュゴン保護区は辺野古、嘉陽に生えている海草藻場(ジュゴンのえさ場)を保護するためのものです。

署名の拡大で、政府環境省への働きかけを強めましょう。



「辺野古・大浦湾に基地はつくらせません」(稲嶺さん 久志地区公民館にて)

市長選挙に
参加して

自転車宣伝隊に声援あつまる



ヒンプンガジュマルの下を自転車隊が出発

辺野古・大浦湾への基地建設を阻止するために、この市長選挙は絶対勝たなくてはならない！という強い思いで応援に参加しました。私は「勝手連」の一員として、告示日当日の出陣式に参加しました。国会議員・県議会議員・市民が多数参加し、熱気あふれる出陣式でした。

その後、市内を自転車宣伝隊として自転車数台とナビの乗用車とともに回りました。手を振ってくださる方、クラクションを鳴らしてくださる方など、手応えを実感しました。「政権交代」という国政の流れの中で、辺野古には基地は作らせないと市民が考え立ち上がった選挙ではないかと思いました。みなさまご支援ありがとうございました。(三村昭彦)



不正投票監視団活動に参加



期日前投票1日目の朝、東恩納琢磨さんから「Y土建が今晚千人の投票動員をかけている」「木曜日までに1万票の企業割り当て表が手に入った」と。

午後、那覇から不正投票監視団のノボリが到着。早速、監視行動を開始。早速、相手陣営から嫌がらせが始まる。選管が「ノボリは威嚇になるので降ろしてほしい」と。ノボリは降ろさないといいきって監視行動を続行。

相手陣営から写真や、脅迫。夜の集会にむけ緊張感が高まる。

Y土建の20人が駐車場の交通整理に到着。監視団を支援する人々も増える。県警のパトカーも巡回。マスコミも続々と集まる。集会には1026人参加。「期日前投票は権利だから胸を張って投票をと集会で言ってる」と情報が入る。集会が終わり、三々五々に帰っていく。20人が投票。

翌日以降は2500人前後の投票だったが、1日目は1413人。不正投票監視団活動の1日目の役割が果たせた。この活動は土曜日まで続いた。(蜷川義章)



市民の良識が投票結果に示されました

1/30全国集会に参加しました

普天間にも辺野古にも基地建設はいらない！ 日比谷野音が満員に

連日、鳩山政権が普天間移設問題で右往左往する中で、1/30普天間基地はいらない辺野古への新基地建設を許さない全国集会に参加しました。1月とは思えないほどのぼかぼか陽気の中、会場内でグッズ販売・署名集めをしました。「沖縄課題で日比谷野音が満杯になったことは久しくなかったなあ」と思いつつ、いったいどれだけの人が集まるのか？ 予想もつきませんでした。しかし開会時間が近づくとぞくぞくと入場者が増え、ついに日比谷野外音楽堂が立錐の余地がないほど埋まりました。署名・グッズ販売も好評で、「沖縄のジュゴン保護の署名です」と呼びかけ、多くの皆さんに署名をしてもらいました。名護市長選挙の勝利で多くの皆さんが基地建設を止める展望と決意を固めていました。集会終了後、元気に銀座をデモ行進し、道行く人に普天間基地の即時閉鎖・辺野古への新基地建設反対を訴えました。(三村昭彦)



辺野古アセス訴訟第3回公判／実質審議を求めました

3月3日、辺野古アセス第3回公判が沖縄・那覇地裁でありました。焦点は国側が方法書や準備書を公判に提出するか否かでした。原告側からは国側の「環境アセスメントは裁判になじまない」について批判しました。

「方法書や準備書作成のやり直し義務はあることの確認の訴えの意見陳述は個別具体的な権利である」と実質審議に入ることを求めました。

国側は次回の4月28日公判で反論を行うと主張して終えました。アセス内容の具体的な論議に入る前段の争いです。

その後、八汐荘に場所を移して弁護士と学習会。難しい行政訴訟の理解を深めることで、裁判闘争を発展させるために学習会が持たれました。参加者は40名。訴訟の意義をふまえて、論点が整理されました。

そして、「意見陳述権は個別具体的な権利ではないから、訴えは却下すべき」との国の主張は、パブリックコメントなど法見直し制度があることを根拠にしているのでは、など活発な意見交換ができました。(蜷川義章)



那覇地裁前 事前集会にて





生物多様性市民ネットワーク総会に参加しました

名古屋で開催された「第2回CBD市民ネットワーク総会」に関西スタッフ4名で参加しました。市民ネットの公式ロゴマーク(ダブルメガホン)も出来上がり、これからの動きにますます注目です！共同代表の高山進さんの開会あいさつ、日本自然保護協会の吉田正人さんより会計・事業報告がありました。運営委員からは、来年度の事業紹介、「国際生物多様性年と生物多様性の10年」の話がありました。そして、「流域作業部会」「普及啓発作業部会」など各部会から活動状況の報告、また地域作業部会からはSDCCスタッフの吉川さんの「沖縄・BD市民ネット」の報告がありました。北海道や九州からの報告もあり、全国的な広がりを感じるとともに、関西での今後の取り組みにSDCCも参加協力して盛り上げていきたいと思いました。

3月28日はCBD市民ネット運営委員の原野好正さんをお迎えして生物多様性学習会を開催します。関西でのつながりを広げていきたいと考えています。みなさん参加して下さいね！

「すべての生きものが幸せになれる地球を作る」これが生物多様性条約会議の目的です。COP10では、貧困撲滅、遺伝子資源のフェアトレードも推進されます。SDCCは「2012年の海洋保護区の推進」で、辺野古の海を『基地ではなく、ジュゴン保護区に』の実現を目指して取り組んでいきます。

総会終了後、せっかく名古屋に来たのだからと、去年サンの島コンサートでご縁を頂いた「生命こそ宝」「NOBASE 辺野古☆名古屋」「緑ジュゴンズ」のみなさんと交流会を持ちました。それぞれの近況やCOP10に向けての取り組みなどを話し合いました。名古屋では写真展、シンポジウム、映画上映などを企画されています。美味しい中華料理とお酒で楽しい時間を過ごし、ほろ酔い気分のなか夜は更けていきました。(池側恵美子)



総会参加者で記念撮影



名古屋の仲間との交流会

☆ご案内 生物多様性学習会

～ COP10に向けて ジュゴンとともに ～生物多様性ってなに・・・？

今年10月名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)にむけ、CBD市民ネットワークの、原野好正さんをお招きして学習会を開催します。みなさまの参加をお待ちしております。(予約は不要です)

(大阪)

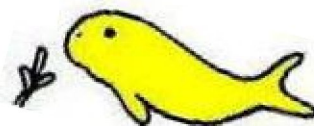
日時:3月28日(日) 18:30開会(受付 18:00)

場所:大阪市(中之島)中央公会堂・大会議室

(東京)

日時:4月23日(金) 18時30分開会

場所:港区勤労福祉会館



詳細は同封の案内チラシをご参照ください。

報告

ダイビングフェスティバルに参加

2月13、14日の2日間、東京ビッグサイトで開催されたダイビングフェスティバルに、WWF ジャパンさんのブースにお邪魔して署名集めとグッズ販売をしてきました。

ダイバーをはじめ、海が好きな方の参加者が多いイベントとあって、「沖縄のジュゴンの保護に」「普天間基地の」「辺野古には」と話すと敏感に反応。毎日報道されているからか、関心の高さにびっくりしました。WWFのジュゴンクイズも好評で、答えたあとは、多くの方が署名に協力してくれました。鳥羽水族館からお借りしたというジュゴン着ぐるみも登場。たちまち人だかりができ、抱きついたり、写真を撮ったりと、相変わらず引っ張りだこでした。署名後に差し上げた折り紙も大人気で、可愛いと喜ばれました。ジュゴンは皆の人気者です。絶対守らなければならないですね。

ブースにはWWFさんが新しく作った「2010年国際ジュゴン年」の横断幕とポスターが展示されていました。また可愛いシールも出来ていて、クイズに答えた方に配っていました。SDCCでも、これからどんどん活用させていただきます。一矢敷克子



1月31日「食と〇〇」をテーマにした作品の「てれれ大賞」受賞式&新年会に参加しました。SDCCは『食とジュゴンのすむ海～おばあのモーイ豆腐』をエントリーしました。まず、10本の作品を上映。会場の大型スクリーンに上映されるといつもと違う雰囲気です。SDCCの『おばあのモーイ豆腐』にも「おばあいい感じ」「会いに行きたいわ～」の声もあがりました。「てれれ大賞」のほか、「てれれクラブ賞」、各上映店からの「上映店賞」そして個人からの賞もあります。

SDCCもなんか賞がほしいな・・・と待っていると・・・おっ！「さいりん館」というところから賞をいただきました。副賞は有機ワイン。私たちにぴったりです。そして大賞は『食と史恵「まあつぎあかぎゅう」』。豪快な食べっぷりの史恵さん。会場には主演女優の史恵さんご本人が来られていました。心が温くなる作品でした。ありがとうございます。てれれでは、映像作品を通じてたくさんの方と知り合い、ジュゴンのことも広がっていけばよいと思います。一松島

ジュゴン、ロンドンに現れる!?

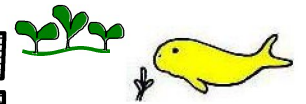
2008年バルセロナで開催された、IUCN世界自然保護会議には、日本で集めたジュゴンイラストのバナーをたくさん持って行って、会議場前広場の木々にくりつけ注目を浴びました。おとなりで、三角形のフラッグを結びつけていたのは、リバプールのランドライフという植物園で活動している団体。ランドライフの方の要請でリバプールに旅立って1年余り、バナーはイギリスのあちこちを旅しているようです。今度はロンドンに現れました。ロンドンのみなさん、ジュゴンのこと知ってね！一山根富貴子

写真：向こうに見えるのは、ロンドンブリッジ



報 告

出前講座しました！



2月17日、大阪の箕面第3中学の修学旅行事前学習に呼ばれ出前講座をしました。最近の修学旅行は団体で行動せず、数人でタクシーを使ってあちこち廻るところが多いです。この中学では、那覇市などの南部ではなく北部の今帰仁に宿泊し、そこから行動するというパターンはめずらしいと思いました。

2日目の自由行動でのアドバイスを兼ねてジュゴンとは？ということや基地問題にも触れることができました。生徒には基地がある生活を知ってほしい・・・沖縄では切っても切れない基地問題に正面から向き合う学校側の姿勢があり、こちらもちょうど講義をさせてもらいました。

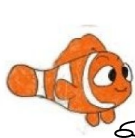


またジュゴン伝説のある古宇利島や、東海岸の嘉陽の街並みなどもパワーポイントを使って紹介しました。体育館に2年生が全員集合し「ジュゴンって知ってる〜？」という問いかけにも元気よく答える生徒たち・・・かわいい！話を真剣に聞いてくれてありがとう！楽しい修学旅行ができるといいね！・・・上田千鶴

沖縄合同写真展



1月11日から1週間、沖縄 BD 主催の??団体・個人の合同写真展「生物多様性ってな〜に？」に参加しました。生物多様性ということで、沖縄のあらゆる自然保護団体の出店がありました。うちな〜んちゅでありながら、こんなにも自島の為に活動している団体があるのだとびっくりしました。私のように、来場して、ジュゴン保護キャンペーンセンターのこと、ジュゴンのことを知った方もいるかもしれません。とても貴重な写真展だったと思います。(中村)



お知らせ

「2010年ジュゴン年にジュゴンに会いに行こう！」

いよいよ今年2010年はジュゴンの年です！そこで、私たちと一緒にジュゴンに会いに行きませんか？5月15日のジュゴンの日？に出発し、日本で唯一ジュゴンが見られる鳥羽水族館で、サンゴとジュゴンの海に詳しい南山大学教授の目崎先生による楽しいガイド付きのスペシャルツアーです。

☆鳥羽水族館では2頭のジュゴン、可愛いセレナとじゅんいちに会うことができますよ。それに、なんとと言っても目崎先生のガイド付きなので普段は聞けないジュゴンの楽しいお話が聞け、鳥羽水族館に行ったことのある方でも充分楽しめるツアーになっています。1泊2日、東京出発¥35,980・自費で現地参加もOKです。翌日16日は自由参加ですが、希望者で伊勢神宮へ2010年ジュゴン年の成功祈願のお参りに行きましょう。詳細は同封のチラシをご覧ください。鳥羽水族館での目崎先生によるガイドは定員になり次第受付を終了します。お申し込み・お問い合わせは e-mail:info@sdcc.jp FAX:03-5228-1377 までお願いします。～鈴木陽子～

ご案内 SDCC第10回総会とアースデイ東京

SDCC第10回総会を4月17日(土)午後6時30分から8時30分まで、渋谷区勤労福祉会館で行います。当日、翌日と代々木公園B地区でアースデイが行われます。SDCCはブースを出してグッズ販売や署名活動を行います。そちらのほうにもご協力をお願いします。

第10回総会で提案する年間総括方針の概要

(概括) ジュゴン保護区へ前進

- 1) 名護市長選挙 3名派遣し、勝利に貢献した。
- 2) ジュゴントレインやジュゴン保護区署名など県内移設反対を取り組んでいる。
- 3) 10月海勢頭コンサート、学習会を名古屋Gや沖縄・BDネットとともに成功させた。
- 4) 国会請願署名 3万360筆 5月21日院内集会 議員6人の参加。
- 5) 山内参議院議員の国会質問と連携して、7月沖縄防衛局・県交渉を取り組んだ。
- 6) 沖縄でBDネットの結成をはじめ様々な取り組みに参加した。
- 7) ジュゴン訴訟、辺野古アセス裁判に積極的に参加した。
- 8) パンプ「2010年国際ジュゴン年」、子ども向けリーフレットの発行
- 9) 映像制作でキャンペーンを広げてきた。
- 10) 三重の高校、大阪・箕面の中学校など出前講座を取り組んだ。
- 11) 会員の減少が続いている。

(方針案) 鳩山内閣に IUCN 決議を履行させる

- 1) 鳩山内閣あての保護区署名を5月に3万筆を第1次提出する。
- 2) 5月15日鳥羽水族館で目崎先生と交流しよう。
- 3) 5月22日「祝☆生物多様性の日パレード関西」、6月6日ジュゴン保護区を！ライブ
- 4) 7月ジュゴンの里ツアーを保護区づくりの一步に。
- 5) ジュゴン民話やイラストコンテストで海外NGOとネットワークを。
今秋のジュゴン保護覚書の国際会議(アブダビ)に代表を派遣する。
- 6) COP10 議長国の政府にジュゴン保護責任を明らかにさせよう。
- 7) 国際ジュゴン年の毎月15日をジュゴン・デイに
- 8) ニュースの充実と会員の拡大

<決算案> 詳細は次号に報告します

年間収入 3011331円(繰り越し152897円)
年間支出 2836137円

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.49 2010年3月16日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514



昨年のアースデイ東京2009にて

★名護市長選挙カンパのお礼

皆さんから121380円のカンパを頂きました。おかげで3名を派遣することができました。また、東恩納琢磨さんが作成した看板には集会カンパなどを含めて112089円が集まりました。東恩納さんから皆さんによるしくとのことでした。



大活躍した「ジュゴン看板」



★国際ジュゴン年ロゴが完成

WWF ジャパンが国際ジュゴン年のロゴを作成しました。コンセプトは「希望」。一頭の赤ちゃんジュゴンを大切に作る気持ちをみんなが持てばきっと未来に希望がもてるということ。2010国際ジュゴン年。ジュゴンとともに生きる未来へ！



Editor's Note

二見以北10区の会の「平和の樹」がリニューアルされました。平和のハンカチを書いてくださったみなさま、ありがとうございます。(M)

